

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
つくばビジネスカレッジ 専門学校	平成7年10月9日	石川 弘	〒305-0003 茨城県つくば市桜2-14-4 (電話) 029-857-9700																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人 つくば総合学院	平成7年10月9日	片岡 均	〒305-0003 茨城県つくば市桜2-14-4 (電話) 029-857-9700																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
商業実務	商業実務専門課程	プライダルビジネス学科	平成21年文部科学省 告示第21号	-																							
学科の目的	プライダル分野における幅広い専門知識と実践的応用力を習得させ、早期での職業実習を経験することにより、コミュニケーション能力・ホスピタリティ精神を併せ持つ人材を育成する																										
認定年月日	平成27年2月25日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	1,860時間	840時間	175時間	845時間	-	-																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
60人	59人	0人	2人	5人	7人																						
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各期末の審査試験にて評価。評価基準はA,B,C,Dの4段階																							
長期休み	■学年始め:4月1日～4月3日 ■夏季休業:7月23日～8月24日 ■冬季休業:12月17日～1月6日 ■学年末:2月25日～3月31日		卒業・進級 条件	①出席率が90%以上・2年間1,700時間以上 ②成績評価がC以上 ③学納金の完納 ④卒業基準検定の取得																							
学支支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任による電話連句、個別面談、及び保護者面談等		課外活動	■課外活動の種類 企業ウエディングフェアモデル、アシスタント参加、小学生お 仕事体験スタッフ参加、自治体主催結婚式プランナー参加 等 ■サークル活動: 無																							
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) ホテルグランド東雲、オークラフロンティアホテルつくば、グランベルホテル、マリエラグラス、芦田プライダル、松庄花壇、アルファクラブ 他 ■就職指導内容 【就職実務】の授業、マナー研修会、業界就職者懇談会、就職活動前研修会、インターンシップ、模擬面接指導など ■卒業生数 : 24 人 ■就職希望者数 : 24 人 ■就職者数 : 24 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数: なし  (平成 29 年度卒業者に関する 平成30年5月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業者に関する平成30年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WBJ認定ウエディングプランナー</td> <td>③</td> <td>24人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>WBJ認定ドレスコーディネーター</td> <td>③</td> <td>24人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>WBW認定ウエディングスペシャリスト</td> <td>③</td> <td>24人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>山野流着装初伝中伝</td> <td>③</td> <td>30人</td> <td>30人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)  ■自由記述欄 ○一般財団法人国際美容協会和装着装全国大会着付け部門振袖審査員特別賞 ○公益財団法人日本プライダル文化振興協会「未来の家族への想い」作文コンクール優秀賞 ○日本ホテルビジネス実務検定教育優秀指導校受賞				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	WBJ認定ウエディングプランナー	③	24人	24人	WBJ認定ドレスコーディネーター	③	24人	24人	WBW認定ウエディングスペシャリスト	③	24人	24人	山野流着装初伝中伝	③	30人	30人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																								
WBJ認定ウエディングプランナー	③	24人	24人																								
WBJ認定ドレスコーディネーター	③	24人	24人																								
WBW認定ウエディングスペシャリスト	③	24人	24人																								
山野流着装初伝中伝	③	30人	30人																								
中途退学 の現状	■中途退学者 3 名 ■中退率 5.1 % 平成29年4月1日時点において、在学者59名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者56名(平成30年3月31日卒業者を含む) ■中途退学的主要原因 進路変更、家庭環境、学力不足 ■中退防止・中退者支援のための取組 入学前のオープンキャンパスでの学校、学科、業界説明の強化、同時に保護者に向けた説明会で理解を深めてもらう。担任との二者、三者面談。																										
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ○出願区分による成績、活動内容等による免除 ○学費免除試験制度 ○学校独自の奨学金制度 ○社会人経験者優遇制度 ○兄弟姉妹入学割引制度 ○在学中の高資格奨励制度 ○県外出身者一人暮らし支援制度 他 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																										
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																										
当該学科の ホームページ URL	http://www.tsg.ac.jp/																										

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ブライダルプランナー・ドレスコーディネーター等ブライダル・ホテル業界への就職を目標にカリキュラムを構成している。ブライダル業界が必要とする「おもてなしの心」を第一に考え、お客様の思いをカタチにしていくために、企画力・表現力を身に付け即戦力として現場で通用する人材を育成することを目標とする。また学生自らが企画立案した挙式・披露宴を手掛ける為、数多くの知識や技術を早めに習得できるように授業編成している。ドレススタイリスト、和装知識、フラワーアレンジメント等、外部において指導をされている方、専門店を運営されている方が授業を担当し、専任教員と協議をしながら、企業が求める人材を育成・輩出できるカリキュラムを毎年改善しながら構築している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会の位置付けは、学校組織教務部の上位に位置し、年に2回の教育課程編成委員会での意見を活かすことで、その後の教育課程の編成を協力して行うものとする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
樽見 美希	一般財団法人国際美容協会 山野流着装教室 講師	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	①
桂木 由記	マレアナ(Ballon de Fleur) 代表	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
山田 梨紗	株式会社ブースタイル 常務取締役	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
石川 弘	つくばビジネスカレッジ専門学校 校長		
長瀬 剛夫	つくばビジネスカレッジ専門学校 副校長		
眞家 順子	つくばビジネスカレッジ専門学校 ブライダルビジネス学科 責任講師		
成島 香昌	つくばビジネスカレッジ専門学校 ブライダルビジネス学科 講師		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

毎年度、半期に一度(9～10月・3～4月)に実施するものとする。

(開催日時)

第1回 平成29年4月4日 10:30～12:00

第2回 平成29年9月28日 10:30～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

身だしなみや立ち居振る舞いが未熟な学生がいることは、卒業研究などチームワークに影響が出てくる。業界人としては、そのチームワークや仲間意識の大切さを感じさせなければならない。今後のプレゼンテーションの実習や就職実務の授業の中で習得できることを期待する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

1. ブライダル業界でより実践的な知識・技能・社会人としてのマナーを身につける。
  2. 机上の学習と実際の業務を結びつけ、学生に自ら何を学ぶべきかを自覚させ、更に学校において自己研鑽をつませる。
  3. 豊かな人間性を持ち、顧客と信頼関係を築けるコミュニケーション能力を身につける。
- 上記1～3を実現するために、ブライダル業界の企業と連携を図り、実習を協力して行える体制づくりをする。そのためには、各企業と協定を結び、その企業と人材交流を深め、カリキュラム構築への助言を頂くものとする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

実習前に担当教員と企業の実習担当者が打ち合わせを行い、実習内容や学生の学修成果の評価方法・評価の指標について定める。実習期間中は、学生の実習実施状況や能力習得状況を把握できるよう相互に情報交換を行う。また、実習先に訪問し実習状況も確認する。実習終了時には、企業実習担当者による学生の学修評価を踏まえ、担当教員が成績評価を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
Weddings I・II	欧米ブライダルビジネスを学習し、NBS WBW認定ウエディングスペシャリスト、WBJ認定ウエディングプランナー取得を目指す。	株式会社ジャスマック (ウエディングビューフル協会)
和装知識 I・II	和装・小物の知識を学習する。また和装着装の技術向上も図ることを目的とする。山野流着装初傳・中傳の合格を目指す。	一般財団法人国際美容協会
企業実習	講義等で得た知識を実践の場で体験することを目的とする。企業担当者の指導の下、知識と実践の融合を図り、学習効果を高める。	ウエディングヒルズアジュール、ホテルグランド東雲、桂由美ブライダルハウス、セントルミエール、アーデンブリス、オークラフロンティアホテルつくば 等
和装実技	実際の結婚式を想定して、和装着装の技術向上を図ることを目的とする。	一般財団法人国際美容協会
卒業制作	ブライダル業界で必要となる発想力、考える力を養い、思いを形にできる表現力の向上を図ると共に、企画・運営に必要な企画書・予算書・進行表などの作成技術を習得する。集大成として模擬挙式・披露宴をプロデュースする。	株式会社筑波学園ホテル [オークラフロンティアホテルつくば]

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

時代とともに常に変化・発展するブライダル業界に必要な資質を持った学生を送り出すための授業知識・技能を習得するために、教員は学内及び学外での研修に参加し、自らの見識・技能の幅を広げ、それを教育の現場にて反映させていくこととする。また、退学防止のため、指導者研修などにも積極的に参加することで教員としての資質向上を図るものとする。年1回以上の研修参加を義務付けるため、年度当初に計画・調整する。学校は教員研修規程に従い、教員の業務経験や能力に応じて、新たに採用した教職員に関して「新任教員基礎研修」管理職教職員に関しては「管理職研修」、また各々指導分野における実務研修・見学研修を計画的に実施する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ブライダル講師のための勉強会」(連携企業等:株式会社ジャスマック ウエディングスビューティフル協会)

期間:平成30年3月19日(月) 対象:成島 香昌

内容:アメリカン・ウエディングの最新トレンド/ブライダルマーケティング

本校が、専門学校として初めて取り入れたウエディングスペシャリスト認定資格の日本支部を運営している協会が主催であり、教材、各種認定試験も取り入れて、認定校となっている。アメリカンウエディングの最新トレンドを学習し、ウエディングプランナー育成プログラムにおけるブライダルマーケティングを理解した。また他認定校講師との情報交換の場は、各校の取り組みを参考にする良い機会である。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「ホテルビジネス実務検定試験(H検)指導者研修会」(連携企業等:一般財団法人日本ホテル教育センター)

期間:平成29年8月18日(金) 対象:真家 順子

内容:平成29年ベーシックレベル検定試験の受験指導のための指導ポイント習得する。ブライダルを学習する学生の中には、ホテルへ就職を希望する者も少なくないので、ホテル業界では著名なホテルビジネス実務検定試験を希望を推奨している。そこで問題傾向、指導方法を理解し指導することにより、前年は教育優秀校の表彰を受けた。

研修名「新任教員基礎研修」(連携企業等:一般社団法人全国専門学校教育研究会)

期間:平成30年3月14日(水)~16日(金) 対象:成島 香昌

内容:新任教員として専門学校全般の理解と、授業技術習得する。①インストラクショナルデザイン基礎研修(目標の明確化から授業計画の作成)②インストラクションの原則、コミュニケーションとプレゼンテーション③専門学校教員の役割とスキル(授業のあり方)④模擬授業と評価④フィードバックと振り返り⑤アクションプラン等の作成

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ブライダル講師のための勉強会」(連携企業等:株式会社ジャスマック ウエディングスビューティフル協会)

期間:平成30年8月28日、12月18日、平成31年3月19日 対象:真家 順子、成島 香昌

内容:欧米の最新ウエディング事情、東京都内での今旬のウエディングスタイル情報 など。本校が採用しているウエディングスペシャリスト資格の教材を発行している協会主催で、本校は認定校として連携している。毎年実施される講師研修会に参加して、専門知識の習得や他認定校との交流を図り、現場の最新の情報を収集する。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「アドラー心理学をベースとした学生の勇気づけモチベーションアップ研修(仮)」

(連携企業等:有限会社ヒューマンギルド)

期間:平成30年3月 対象:真家 順子、成島 香昌、他教務部員

内容:アドラー心理学の柱となる理論や「共同体感覚」、「勇気づけ」について、ワークやディスカッションを織り交ぜて実施する。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

1、学校関係者評価は、評価という協働作業を通じて、学校、卒業生、地域住民などがお互いに理解を深めることである。学校はそれに関係する人たちが理解を深め合うためのコミュニケーションツールであると考え。

2、学校評価の基本は、自己評価である。学校が行った自己評価が、卒業生、地域住民たちの目から見ても違和感無く受け入れられるかについて意見を頂き、自己評価の客観性・透明性を高めていきたい。

3、学校関係者評価は、卒業生、地域住民などが、学校と一緒に学生のことを考え、それぞれの立場、視点から意見を出し合うことで、より良い学校づくりに寄与するためである。

## (2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念、育成する人材像
(2)学校運営	教育内容
(3)教育活動	教育の実施体制
(4)学修成果	教育目標の達成度と教育効果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	社会的活動
(7)学生の受入れ募集	管理運営
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	改革・改善
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

## (3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価の活用は、学校力の向上、信頼される開かれた学校づくりに寄与できることにより、開かれた学校づくりに効果的であると思われる。

○毎年度末、在校生を対象に【学校・担任満足度アンケート】、1年生保護者を対象に【学校教育活動における保護者アンケート】を実施し、教職員が共通認識のもと、改善点を今後の授業運営や学生指導に役立てている。

○年2回、役員による各期の基本方針が全教職員の前で述べられ、学校経営に対する熱意や姿勢を共通理解するようになっている。自己評価や学校関係者評価を行い、課題を共有して解決へ向けて教職員が建設的な意見を出し合っている。

## (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年5月1日現在

名前	所属等	任期	種別
橋谷 征司	元茨城県立下妻第一高等学校 教頭	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	教育関係者
原田 文普	元茨城県立石岡第一高等学校 教頭	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	教育関係者
細田 哲司	有限会社丸二産業 役員	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	地域住民
大里 香織	茨城県公立学校臨時教員	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	卒業生
山田 梨紗	株式会社ビースタイル 常務取締役	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業等委員
片岡 均	学校法人つくば総合学院 理事長		
石川 弘	つくばビジネスカレッジ専門学校 校長		
長瀬 剛夫	つくばビジネスカレッジ専門学校 副校長		

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

## (5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) )

URL: <http://www.tsg.ac.jp/>

## 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

## (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

一般社団法人全国専門学校教育研究会が作成した自己点検・評価基準を基に、学校に適応した「自己点検・評価チェックリスト」を策定し、自己点検を行うことで、教育水準の向上に更に努めるよう工夫する。

## (2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2)各学科等の教育	各学科等の教育
(3)教職員	教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6)学生の生活支援	学生の生活支援
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	学校評価
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

## (3)情報提供方法

URL: <http://www.tsg.ac.jp/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ブライダルビジネス学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			一般常識Ⅰ	社会人として、またブライダル業界人として必要な一般常識を身に付ける。	1前	15		○			○	○			
○			一般常識Ⅱ	社会人として、またブライダル業界人として必要な一般常識を身に付ける。	1後	15		○			○	○			
○			カラーコーディネートⅠ	基本的な色彩の知識や仕組みを習得することを目的とする。色の組み合わせ、トーン、配色などの知識を身につける。色彩検定合格を目指す。	1前	45		○			○	○			
○			カラーコーディネートⅡ	基本的な色彩の知識や仕組みを習得することを目的とする。色の組み合わせ、トーン、配色などの知識を身につける。色彩検定合格を目指す。	1後	30		○			○	○			
○			サービスマナーⅠ	接客業で必要とされる基本的な知識を習得し、社会人マナー等の基本ルールを学び、接客サービスマナー検定合格を目指す。	1前	30		○			○	○			
○			サービスマナーⅡ	接客業で必要とされる基本的な知識を習得し、社会人マナー等の基本ルールを学ぶ。	1後	30		○	△		○	○			
○			プレゼンテーションⅠ	プロデュース、卒業研究、また実社会において必要なプレゼンテーション技法及びパワーポイントを学び、実践する。	1前	60			○		○	○			
○			プレゼンテーションⅡ	プロデュース、卒業研究、また実社会において必要なプレゼンテーション技法及びパワーポイントを学び、実践する。	1後	60			○		○	○			
○			ブライダルコスメⅠ	ブライダル業界向けのヘアアレンジメント、ネイル、化粧の技術習得を目的とする。	1前	60		△			○	○		○	
○			ブライダルコスメⅡ	ブライダル業界向けのヘアアレンジメント、ネイル、化粧の技術習得を目的とする。	2後	30		△			○	○		○	
○			WeddingsⅠ	欧米ブライダルビジネスを学習し、NBS WBW認定ウエディングスペシャリスト、WBJ認定ウエディングプランナー取得を目指す。	1前	60		○			○	○			○
○			WeddingsⅡ	欧米ブライダルビジネスを学習し、NBS WBW認定ウエディングスペシャリスト、WBJ認定ウエディングプランナー取得を目指す。	1後	90		○			○	○			○
○			PC実習Ⅰ	PC操作の基本であるExcel・Wordの基本操作を身につけることを目的とする。映像、画像処理操作方法も学習する。	1前	30		△			○	○		○	
○			PC実習Ⅱ	PC操作の基本であるExcel・Wordの基本操作を身につけることを目的とする。映像、画像処理操作方法も学習する。	1後	15					○	○		○	

○		ブライダル総論Ⅰ	結婚式の基礎的な知識からセールス、マーケティングに至るまでの知識を習得することを目的とする。	1前	45		○			○		○				
○		ドレススタイリストⅠ	ウエディングドレスの知識やフィッティング技術、コーディネーター技術を習得することを目的とする。WBJ認定ドレスコーディネーター取得を目指す。	1前	45		○		△	○				○		
○		ドレススタイリストⅡ	ウエディングドレスの知識やフィッティング技術、コーディネーター技術を習得することを目的とする。WBJ認定ドレスコーディネーター取得を目指す。	1後	45					○	○			○		
○		和装知識Ⅰ	和装・小物の知識を学習する。また和装着装の技術向上も図ることを目的とする。山野流着装初傳・中傳の合格を目指す。	1前	45		○		△	○				○	○	
○		和装知識Ⅱ	和装・小物の知識を学習する。また和装着装の技術向上も図ることを目的とする。山野流着装初傳・中傳の合格を目指す。	1後	45					○	○			○	○	
○		プランナー実務	ウエディングプランナーとしての役割を学び、実務的なことは勿論、プロデュース力や対応力を身に付ける。	1後	15					○	○			○		
○		英会話Ⅰ	英会話の基礎的な知識の習得を目的とする。ブライダル・ホテル業界に活かす知識を得る。	1前	15		○				○				○	
○		英会話Ⅱ	英会話の基礎的な知識の習得を目的とする。ブライダル・ホテル業界に活かす知識を得る。	1後	15		○				○				○	
○		就職実務Ⅰ	就職活動の流れを理解し、豊かな人間性育成を目的とする。社会モラルや職業観を醸成し、キャリア形成の必要性を理解する。さらに適性検査、SPI試験、面接試験等について理解する。	1後	15		○				○			○		
○		企業実習	講義等で得た知識を実践の場で体験することを目的とする。企業担当者の指導の下、知識と実践の融合を図り、学習効果を高める。	1後	75						○			○	○	
○		ブライダル総論Ⅱ	結婚式の基礎的な知識からセールス、マーケティングに至るまでの知識を習得することを目的とする。	2前	90		○				○			○		
○		ブライダル総論Ⅲ	結婚式の基礎的な知識からセールス、マーケティングに至るまでの知識を習得することを目的とする。	2後	90		○				○			○		
○		ドレススタイリストⅢ	ウエディングドレスの知識やフィッティング技術、コーディネーター技術を習得することを目的とする。WBJ認定ドレスコーディネーター取得を目指す。	2前	45						○	○			○	
○		ドレススタイリストⅣ	ウエディングドレスの知識やフィッティング技術、コーディネーター技術を習得することを目的とする。WBJ認定ドレスコーディネーター取得を目指す。	2後	45						○	○			○	
○		和装実技	実際の結婚式を想定して、和装着装の技術向上を図ることを目的とする。	2後	45						○	○			○	○
○		プランナー接遇	結婚式を計画する顧客を想定して、受付から結婚式終了後までの、接客技術を習得する。	2前	30						○	○			○	

○	ブライダルプロデュース	日々進化するブライダル業界の研究を行い、顧客の希望に添えるような結婚式をプロデュースできる知識を習得する。	2後	45		○		○	○									
○	フラワービジネスⅠ	花材の扱い方を学ぶとともに、ブーケ作成、会場装飾などの技法を習得することを目的とする。	2前	60				○	○									○
○	フラワービジネスⅡ	花材の扱い方を学ぶとともに、ブーケ作成、会場装飾などの技法を習得することを目的とする。	2後	60				○	○									○
○	PC実習Ⅲ	PC操作の基本であるExcel・Wordの基本操作を身につけることを目的とする。映像、画像処理操作方法も学習する。	2前	30				○	○									○
○	英会話Ⅲ	英会話の基礎的な知識の習得を目的とする。ブライダル・ホテル業界に活かす知識を得る。	2前	15		○			○									○
○	英会話Ⅳ	英会話の基礎的な知識の習得を目的とする。ブライダル・ホテル業界に活かす知識を得る。	2後	15		○			○									○
○	就職実務Ⅱ	就職活動の流れを理解し、豊かな人間性育成を目的とする。社会モラルや職業観を醸成し、キャリア形成の必要性を理解する。さらに適性検査、SPI試験、面接試験等について理解する。	2前	30		○			○									○
○	卒業制作	ブライダル業界で必要となる発想力、考える力を養い、思いを形にできる表現力の向上を図ると共に、企画・運営に必要な企画書・予算書・進行表などの作成技術を習得する。集大成として模擬挙式・披露宴をプロデュースする。	2前	180					○	○	△							○
○	卒業研究	挙式・披露宴について研究し、企画・運営するブライダルプロデュースの発表内容をまとめ、プレゼンテーションを行う。	2後	90					○	○	△							○
○	ABC検定対策 (アシスタント・ブライダル・コーディネーター)	アシスタント・ブライダル・コーディネータ(ABC)検定合格を目指すために、関連分野の知識向上を図ることを目的とする。	2後	60		○			○									○
合計			40科目	1,860単位時間( 単位)														

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：① 出席率が90%以上・2年間1,700時間以上 ② 成績評価がC以上 ③ 学納金の完納		1学年の学期区分	2期
④ 卒業基準検定の取得 履修方法：全ての学生が必修科目を履修する		1学期の授業期間	18週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。